

TOREK 自然農法 ホットニュース

第 260 号 2019.12.25

健康な地球に生きる健全な人間の姿を求める「岡田茂吉師」が提唱した「自然農法の原理」に基づき、「無施肥無農薬栽培」を通し、生産、流通、消費者がお互いの現場を理解し合える、安全で豊かな「食」の普及に取り組んでいます。

食べておいしく♪ 語り合える頒布会

12月15日(日)、東中野頒布会の様子を、青年スタッフに聞きました。

開店前に、「お客様と生産者を繋ぐように意識しましょう」とお話がありました。実際、会場内では多くの方が生産者と会話する姿をたくさん見ることができました。お客様が真剣に生産者のお話にも耳を傾ける様子や、楽しげに話す様子、また生産者も、生き生きとお話する姿が印象的でした。自然農法がたくさんの方に広まっていることを実感しました。(松本紗季)



会場の外での声掛けを行って感じたことは、道行く人の対応の変化です。今まで見向きもされなかったことが多かったのですが、今回は「自然農法の販売会です」とお伝えすると、ふり向かれ、吸い込まれるように会場へ入っていかれました。ある方は、店頭でフライドスイートポテトの試食をし、そのまま会場に入られ、醤油とお酢の試食、ほうじ茶の試飲をされ、笑顔で、「ありがとうございました!」と、帰っていかれました。

また今回、自然農法 37 年の弥生会の畑のジャガイモを販売いたしました。何名かの子供に試食をもらおうと、みんな深くうなずいて、「おいしい」と言ってくれました。あるお子さんは、ジャガイモを食べた瞬間に眉毛が大きく動き、笑顔に変わりました。その様子を見て、このジャガイモをもっとちゃんと育てて、より多くの方に味わっていただきたいという気持ちになりました。(上月章裕)

試食をして購買意欲がわくお客さんが多く、安全だけでなく、味も良いと感じていただけることに純粹にすごいと思いました。また、生産者の話を聞く中で、生産者の強い想いと共に、膨大な知識量、そして止まない探究心に圧倒され、刺激を受けるばかりの 1 日でした。(江原沙貴)

お子さんがおにぎりを口いっぱい頬張り、「おいしい!」と言っていた姿や、堀さんのお米を召し上がって、「今回のお米の生産者はどなた?」と味に驚いて、尋ねられた方がいらっしやいました。お米が真価を発揮しているのは、堀さんの想いがあってのことなのだと思います。(児玉裕也)

お誘いした先輩に、お茶、麴のスープ、ジャガイモなど試食してもらい、「どれも後味に雑味がなく、スッキリしていて、身体にスツと入る、とても美味しい」と喜んでいただけ、良かったです。(蛸井由佳)

先人の田んぼを引き継ぐ ① 千葉県 熊澤洋子

昭和 56 年より、千葉市と八千代市の田んぼにて、自然農法の米作りを 38 年、継続させていただいています。

当時、自然農法を学んだ母が父を説得し、鎌ヶ谷グループの仲間とともに始めました。しかし平成 24 年、母の体力の限界ということで、やめるという話になり、とても残念で、さみしいなと思いました。そんな中、長男が、TOREK で一番長く続いてきた自然農法の田んぼであることを知り、「途絶えさせてはいけない!」と、引き継ぐこととなりました。しかし息子は就職したばかり、仕事との両立は困難だと私は思いましたが、

息子ができないことを補うという気持ちで、主人とともにサポートすることにしました。1 反と 4 畝の田んぼのうち、4 畝で作付けすることにして、続けられるか、1 年様子を見ることにしました。



今年 8 月 10 日

平成 25 年、無事に収穫が終わり、主人も私も稔った稲穂を見て、うれしい気持ちを共感しました。種もみも取れたので、1 年休ませた 1 反の田んぼも始めることにしました。

母は体が動かないからと、中古のバインダー、脱穀機、もみすり機を購入してくれました。義妹のお父様や、隣の田んぼの K さんが手伝ってくれ、とても有り難いと思いました。その母も、平成 29 年の夏から体調が悪くなり、昨年平成 30 年 3 月に亡くなりました。自然農法一筋に取り組んできた母の想いにはかなわないけれど、田畑を荒らさないように、できることを続けようと思いました。

しかし昨年は、稲刈りの途中でバインダーが壊れたり、9 月 30 日の台風 24 号で、はざ掛けが壊れ、稲が濡れてしまったり、充分稲の乾燥を待たず脱穀したことで、玄米がカビて、販売を中止したりと、多くのことがありました。母が亡くなり、軸が消えてしまい、想念の乱れもあったのかもしれませんが。それと同時に、何か変わる転機なのか、田んぼを続ける覚悟を諭された感じがしました。

年の暮れ、隣の K さんから田植え機をもらってほしいと言われました。私たちの苗作りは岡苗(おかなえ)と言って、畑で苗を作っていて、狭い面積だし、手植えで大丈夫とも思いましたが、先々の労力を考え、田植え機を頂くことにしました。

岡苗とは、畑に苗床を作り、種を直接まき、上から土をふるい、トンネル状にビニールをかぶせ、保湿し、1 ヶ月ほど育てます。この育苗は珍しく、堀さんからぜひ残してほしいと言っていたいています…(次号へ続く)



岡苗作りのための種まき

心身の不調からの回復!

東京都 山崎紫織



3 年ほど前、ホルモン剤を服用したことで、めまい、立ちくらみ、胃腸障害、食欲不振、極度の冷え性など、多くの身体的不調が起きました。このような症状が長期間続き、精神的にも落ち込み、うつ病のような状態になっていました。体重が 10kg 以上減ったため、心配になり、病院で検査しても、貧血ぐらいで、病名はつかず、医師には「しっかり、栄養を取ってください」と言われました。しかし、食事の度に、胃腸が気持ち悪く、頭もフラフラしていました。水分をとると、めまいが起きていました。

そのようなとき、自然農法の食材に出会いました。それは、お米、お茶、お野菜等、肥料や農薬を使用せず、土が本来もつエネルギーを引き出し、栽培したものでした。食材を口にするのは不安でしたが、自然農法のお茶とお米を一口二口と、口にしてみました。すると、食事の度に毎回起きていた胃腸の気持ち悪さ、めまい等は全くなく、胃腸が動き出しているように感じ、体も温かくなってきました。自然農法の食材をきっかけに、少しずつ食べる量が増え、扉が開いたように、食べられるようになりました。お陰様で、体重が 8kg も増え、めまい、立ちくらみ、胃腸障害、食欲不振、極度の冷え性等の症状はなくなり、体力が回復し、お腹がすくようになりました。家族と一緒に楽しく食卓を囲むことができるようになりました。

一般のお茶には、栽培するとき、多くの農薬が使用されていることを知り、毎日、自然農法のほうじ茶や紅茶をタンブラーに入れて、持ち歩くようにしています。今では、九州の実家にいる家族も、自然農法のほうじ茶、お茶を飲むようになりました。このように、貴重な「無施肥無農薬栽培」の食材を作ってください生産者の方々に、深く感謝いたします。

お知らせ

★ 自然農法頒布会 12月26日(木)、1月30日(木) 鎌ヶ谷会場 11:00~15:00 (売切れ次第終了)

無施肥無農薬栽培物の販売予定

1月1日 於: 伊都能売会館

生産者の方々が直接販売されます。

東京都八王子市長房町 57 042-665-6369

- 市川生産グループ: 煎茶、ほうじ茶、煎茶ティバック、ほうじ茶ティバック
- 菜園 金野: サツマイモ、里芋、人参、長ネギ、カットカボチャ
- きじま平自然農産: 甘納豆、干し柿、ブルーベリージャム、大根
- 中島農園: ジャガイモ、ネギ、大根、小松菜、梅干し、大根の漬物
- ジョリフィユ: お年賀ギフト、プリン、マドレーヌ、クッキー 他
- 長柄山自然農園: 卵

お問い合わせ先: 編集部 針貝 FAX: 03-3369-3324 e-mail: naturefarming@torek.jp
TOREK 活動のホームページもご覧ください。 <http://www.torek.jp>